


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立青山特別支援学校		知的障害	基	通学区域	港区(全域)、目黒区(一部)、渋谷区(一部)、千代田区(一部)			
	校訓 小さな一歩の継続 一経験の積み重ねが、自信に変わる				進路実績				
基	所在地	〒107-0062 港区南青山二丁目33番77号	電話番号	03-3471-9203	本	教育課程の特徴	①	一人一人の障害特性、キャリア発達を見据えた教育	
	アクセス	(1) 東京メトロ銀座線 外苑前駅から徒歩7分 (2) 都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅から徒歩7分 (3) 東京メトロ千代田線 乃木坂駅から徒歩10分					②	青山教育プランに基づく9年間を見据えた教育	
本	設置学部	小学部、中学部			情	副籍実施状況	③	校内信号機を活用した社会自立に向けた安全教育	
	幼児・児童生徒数	118名(小学部71名、中学部47名)					④	クライミングウォール、天然芝グラウンドを活用した健康づくりと基礎体力の向上	
報	学級数	27学級(小学部16学級、中学部11学級)			報	学校評価	⑤	外部専門員を活用した授業改善、教材開発、授業力向上、コミュニケーション力向上	
	スクールバス	5台(小型3台、中型2台)					学校評価	・アンケート回収率(保護者84%、教職員100%) ・保護者アンケートの各項目で肯定的評価が90%前後得られている。	
その他	都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業 都立特別支援学校知的障害教育外部専門員活用事業導入校			ホームページ	http://www.aoyama-sh.metro.tokyo.jp				

目指す学校 **社会に貢献し、地域でたくましく生きる児童・生徒を育成する学校**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	個々の障害の程度や状態、教育的ニーズに応じた指導内容・方法の充実 (1)将来につながる身体づくりを意識したキャリア教育の推進 (2)オリンピック・パラリンピック教育の推進 (3)研究指定「都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業」を活用した地域貢献活動の充実 (4)タブレット端末を活用した授業の推進	(1)健やかな身体づくりが身体機能だけに留まらないキャリア発達の基盤となっていることを確認することができた。様々な事例の多角的な分析・協議、講師の先生方や外部専門員の助言等からの学びによって深めることができた。 (2)地域清掃ボランティア体験によるボランティアマインドの育成、オリンピック・パラリンピック教育通信(年3回)を図ることができた。 (3)社会貢献活動モデル事業では、地域施設と連携して知的障害特別支援学校の小・中学部設置校としての事例を発表した。参加された高齢者の方と歌や障害者スポーツを通じて地域貢献をすることができた。	
目標②	緊急時に即時対応ができる教育環境の確保、防災教育の充実 (1)大規模災害を想定した総合防災対策の推進(1泊2日宿泊防災訓練に向けた環境・条件整備、地域防災との連携) (2)教職員の災害対応スキルの習得(上級救命講習の受講推進、スキル向上) (3)地域と連携した防災教育の充実	(1)本校で初めての宿泊防災訓練について、中学部第3学年を対象として実施した。今回の実施により、災害時に児童・生徒全員に対応するために必要な物品や準備について確認することができ、次年度の予算に反映できた。 (2)上級救命講習の受講推進を図り、応急手当普及員の資格者を増やすことができた。 (3)防災教育推進協議会を実施することで地域関係機関と連携した発災時を想定した意見交換や情報収集をすることで防災意識や対応力を高めることができた。	
目標③	地域における特別支援教育のセンター的機能の充実 (1)支援対象エリアへの特別支援教育コーディネーターによる支援の充実(相談対応150件、支援対応40校園、関係職員対象地域実践セミナー開催) (2)メディアを活用した本校の教育の理解推進(学校ホームページの更新、各種通信の内容充実)	(1)今年度東京都の事業として渋谷区特別支援学級に対して支援や助言を行うことで特別支援教育に関する指導の充実をはかることができた。相談対応150件、支援対応40校園、関係職員対象地域実践セミナー2回開催 (2)ホームページ更新を100回以上行い、本校の教育内容を各種通信を通して紹介することができた。学校見学や学校支援の情報を提供し、就学支援や校内研修において地域連携を充実させることができた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	「将来につながる身体づくりを意識したキャリア教育」に関する校内研究会(回)	-	-	11	14	14	14	11	11			
目標②	教職員の上級救命講習の受講(%)	-	-	25	77	100	96	100	83			
目標③	特別支援教育コーディネーターによる地域支援(ケース)	250	314	190	227	200	201	200	214			

